

Profile

映画ソムリエ。雑誌やWebをはじめ、映画公開イベントでのMCとしても活動中。独自視点のレビューが人気で、映画だけでなくカルチャーへの愛が止まらない。

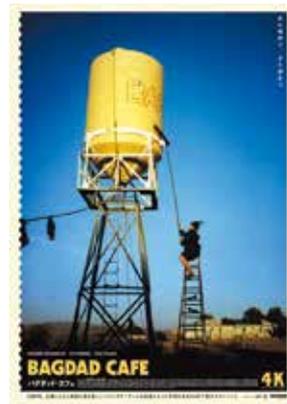
Vol.7

観

百

画

映



© 1987 / Pelelele Film GmbH - Project Filmproduktion im Filmverlag der Autoren GmbH & Co. Produktions-Kommanditgesellschaft München - Bayerischer Rundfunk/BR - hr Hessischer Rundfunk

『バグダッド・カフェ 4Kレストア』

2024年12月13日(金)より YEBISU GARDEN CINEMAほか全国順次公開  
配給・宣伝/アルファズベツト  
スタッフ/監督:バーシー・アドロン、脚本:バーシー & エレオノーレ・アドロン  
出演/リアンネ・セーゲブレヒト、ジャック・バランス、CCH・バウンダーほか  
主題歌/「コーリング・ユー」ジェヴェッタ・スティール  
提供/是空、TCエンタテインメント  
(1987年/西ドイツ/108分/英語、ドイツ語/カラー)  
■公式HP: <https://alfazbetmovie.com/bagdadcafe4>

名曲とともに幾度となく思い出される景色がある。雲一つない青い空、砂埃舞う砂漠、黄色い給水タンク、オレンジ色の夕焼け、ぼつんとたたずむモーター。アカデミー賞歌曲賞にノミネートされ、世界で100以上のカバー・バージョンを生んだ主題歌「コーリング・ユー」が流れるたび、この景色が蘇りノスタルジーに誘われます。

1989年に日本公開され伝説的ロングランをとばしミニシアターブームの象徴となった「バグダッド・カフェ」が今年3月に亡くなったバーシー・アドロン監督監修のもと4K修復され、スクリーンに戻ってきます。

アメリカ西部のモハヴェ砂漠にある、寂れたカフェ兼モーテルの「バグダッド・カフェ」。そこに突然、夫と別れたドイツ人旅行者ヤスミンがやってきます。仕事も家庭もうまくいかずいつも不機嫌な女主人のブレンダとそこに集う個性的な客たちが、ヤスミンの存在によって乾いた

心がゆっくりと潤されていきます。カフェは、止まっていた時間が動き出します。最初は仲良くなりそうにもない二人が、やがてかけがえのない友情で結ばれていきます。

この名作に大好きなシーンがあります。イライラしてばかりのブレンダがはじめて自分の過ちをヤスミンに謝罪し、自分の弱さをさらけ出す。その後、乾いた砂漠にまぼろしみたいなのが出来ます。そして、燃えるような夕焼けがあらわれます。

今までもずっと身近に存在していたのに、余裕の無さが見えなくしていた景色。立ち止まる

ことで気付くことのある風景があることの表現でしょう。そして流れだすコーリング・ユーの旋律。

映像、音楽、芝居、空間がまるでパズルのようにはまって一枚の絵画のように脳裏に刻まれ「映画は総合芸術である」という意味をはじめ理解した瞬間だったことを今も鮮明に覚えています。

スマホが人と繋がるメインの手段となり、いつでも誰かと繋がる事ができるこの時代は、人との繋がりが表面的で希薄ともいえます。誰かと関わること

とはただ連絡を取ることじゃなく、良いことも悪いことも含めて相手と対峙することだ。人との関わりが親密になるほど、傷つけ傷つけられたりもするけれど、それ以上に素晴らしい化学反応が起きる可能性があるという人間関係の本質を取り戻せることができます。

移民、アフリカ系アメリカ人、ネイティブ・アメリカンなどで構成された作品は80年代には作りにくかったかもしれない。人種も文化も信条も飛び越え、目の前にいる人間と対峙し、心でコミュニケーションをつくっていく。

改めて、これは現代でも求められるテーマであり、すべての人の理想郷でもあるとさえいえないでしょうか。それ故、この映画が古くなることはこの先もないのでしよう。

黄色のコーヒーマシンから珈琲の香りがスクリーンを飛び越え、こちらまで香ってきてそうです。あたたかく愛おしい時間をより鮮明になった映像でぜひ。

人はいつも〴〵生きる証〴〵を探している

人生には無数の道があるのだから